

日本センチュリー交響楽団

ニュ~イヤ~ファミリ~コジサ~ト

しき
指揮・おはなし 茂木 大輔おの
うた・おはなし 小野 あつこ

ユンヘン国立音楽大学大学院修了(オーボエ専攻)。1986年からシュトウガルト・フィルハーモニー管弦楽団の第1オーボエ奏者を経て、1990年から30年に渡りNHK交響楽団首席オーボエ奏者を務め、2018年、その功績によりN響より「有馬賞」受賞。N響在団中の2009年より、4年間にわたり東京音楽大学および大学院にて指揮を学ぶ。指揮を広上淳一、故岩城宏之、および外山雄三の各氏に師事。2019年3月にN響定年退職とともに、専業の指揮者としての活動を開始した。オーケストラの楽器やバッハの教会音楽、ベートーヴェンのシンフォニーなどの解説コンサートで全国的に活躍。二ノ宮知子「のだめカンタービレ」原作に取材協力、自ら企画・指揮する「生で聴く『のだめカンタービレ』の音乐会」を全国展開し、100回を超えて継続中。現在までに仙台フィル、アンサンブル金沢、東京フィル、京都都市響、日本センチュリー交響楽団、兵庫PAC、広島交響楽団、九州交響楽団、琉球交響楽団など多数の団体を指揮している。現在東京音楽大学指揮科助教。執筆でも知られる、「交響録・N響で出会った名指揮者たち」(音楽之友社)など多数の著書がある。



ピアノ 原由莉子

阪府立夕陽丘高校音楽科、京都市立芸術大学ピアノ科を卒業後、ワイン国立音楽大学大学院ピアノ演奏科修了。イタリア第20回エウテルベ国際音楽コンクール第1位、ドイツ第5回オレギオ国際ピアノコンクール審査員特別賞、スイス第1回「チャイコフスキーカップ2019」国際ピアノコンクール第2位、等多数受賞。また各々イタリアで行われた第2回ヴィッラフランカ・ディ・ヴェローナ国際音楽コンクール、第5回タディーニ国際音楽コンクールでは、最高得点者に贈られる絶対の第1位を受賞。ヨーロッパ各地で受賞記念リサイタルを行う。大阪交響楽団、兵庫PAC、神戸フィルハーモニック等の様々なオーケストラと協奏曲を共演。「大阪クラシック~街にあふれる音楽~」、「生で聴く『のだめカンタービレ』の音乐会」、「富士山河口湖音楽祭」等の人気演奏会シリーズに出演。関西テレビ「ピーケバーチケ」、MBSラジオ「ありがとう浜田淳です」等のメディアにも多数出演。



日本センチュリー交響楽団

街に響く。心に届く。

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客席指揮者に就任。ザ・シンフォニー・ホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、演奏活動は高い評価を得ている。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどんサーカー」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を发掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。



©Masaharu Eguchi

ご来場のお客様へ

手指の消毒をお願いします。



マスクの着用をお願いします。



コンサートを安心して楽しんでいただくために、ご協力をお願いいたします。

発熱がある方はご来場をお控えください。



お客様同士の距離の確保にご協力ください。



咳エチケットにご配慮をお願いします。



会話は小声で短めに。



*新型コロナウィルス感染症の感染拡大状況により、中止や延期、または内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



「メシアター」へのアクセス

○吹田市泉町2丁目29番1号(阪急千里線 吹田駅前)

メシアター(吹田市文化会館) TEL.06-6380-2221